

宮崎県在京経営者会議だより

第11号

宮崎県在京経営者会議
発行責任者/高山弘憲
〒104-0084
東京都千代田区二番町 5-7
JP本社ビル内
TEL.03-3265-2911
FAX.03-3265-1109

会長挨拶

宮崎県在京経営者会議

会長 高山弘憲



師走を迎え、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当会は本年で設立14年目の

年を迎えますが、お陰さまで会員数も増加・充実の一途を辿り、会員相互間や郷土経営者との親睦や経済交流のほか、県の観光・物産など産業支援や伝統文化の普及に貢献すべく、愛郷心あふれる仲間と共に歩み続けてまいりました。会員各位の惜しまぬご協力のもと、県当局や親睦団体である宮崎産業活性化協会のご指導を得、長きにわたり継続実施できましたことに衷心より深く感謝申し上げます。さて、私どもを取り巻く経営環境ではありますが、デフレ下にあつて内需が冷え込むとともに、世界経済の減速により輸出が

減少し、先行き不透明でありま

ご観光資源開発等々新基軸を

す。私ども経営者としては、厳しい経営環境であるという現実

たものであり、私ども応分の

知事挨拶

宮崎県知事 河野俊嗣



「宮崎県在京経営者会議だより」の発行に当たり、一言

ご挨拶申し上げます。

宮崎県在京経営者会議における本県出身者への就職支援や物産振興、災害や催事の際のご支援等、ふるさと宮崎との架け橋として多大なるお力添えを賜り、深く感謝申し上げます。

活性化協会会長挨拶

宮崎産業活性化協会

会長 羽田 正治



宮崎産業活性化協会におきましては、日々、県産品の普及

景とした世界経済の減速等もあり、先行きは未だ不透明な状況にあります。本県におきましては、口蹄疫等からの再生・復興をはじめ、重要課題が山積しております。このため、県では、停滞している県内経済の活性化に重点的に取り組む「みやさき元気プロジェクト」を展開するとともに、「広い意味での地産地消」や100万泊県民運動を推進するなど、本県経済のより一層の活性化を図っているところであります。今年には古事記編さん1300年、8年後の平成32年は日本書紀編さん1300年という節目の年に当たります。天孫降臨に

取り組んでおりますが、特に都市圏でのビジネスチャンスを探るために、宮崎県在京経営者会議の高山会長はじめ、役員、会員の皆様方には、日頃よりご理解、ご支援をいただき

に表れてきておりますことは誠に喜ばしいことと考えております。さて、皆様ご承知の通り、本県経済は、長引く不況、自然災害や口蹄疫により宮崎の

本年は、東京での「宮崎の焼酎と郷土料理を楽しむ会」や「郷土宮崎への観光ツアー」ならびに交流会の事業を共同催させていただき、会員相互の有意義な交流の場として、かつ商談の場として活用させていただいておりましたが、回

基幹産業である農畜産業が大きな被害を受け、その被害は商工業など各産業にも波及するなど、長らく疲弊しておりますが、先に行われた「全国和牛能力共進会」で、宮崎牛が大会二連覇を果たすことができました。このことは今後の宮崎県の経済復興及び畜産王国宮崎の復活に大きな励みと自信を取り戻す明るい話題であったのではないかと考えております。

まつわる日向神話の舞台である本県としましては、多彩な神話や祭りなどの歴史的・文化的資源を見つめ直すとともに、今年から9年間にわたり、様々なイベント等を通じて、「神話のふるさと宮崎」の魅力

も宮崎産業活性化協会は宮崎県在京経営者会議の皆様と一致団結し、お互い助け合い、積極的に事業展開を図ることにより、宮崎の活性化に向けて協働し参りたいと考えております。今後につきましても、私ども宮崎産業活性化協会は宮崎県在京経営者会議の皆様と一致団結し、お互い助け合い、積極的に事業展開を図ることにより、宮崎の活性化に向けて協働し参りたいと考えております。

「神話のふるさと宮崎」の魅力を県内外に積極的に発信してまいりたいと考えております。皆様におかれましては、引き続き、本県の頼れる応援団として、ご理解とご協力をお願い申し上げます。終わりに、宮崎県在京経営者会議のますますのご発展並びに皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

どうぞ、これからも尚一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方のご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

定期総会報告
第14回定期総会報告

6月29日(金)、グランドアーク半蔵門にて、第14回定期総会が開催された。高山弘憲会長の挨拶の後、総会の議事に入り、議事次第に従い、平成23年度事業報告並びに収支決算承認、平成24年度事業計画並びに収支予算案承認、規約改正、並びに役員改選の各議案とも、いずれも原案どおり承認可決された。

引き続き、懇親会となり、来賓として河野俊嗣宮崎県知事、戸敷正宮崎市長及び宮崎産業活性化協会・羽田正治会長からご挨拶を賜り、宮崎牛口蹄疫のその後の再生・復興状況その他の宮崎の経済状況等のご報告があった。また、古事記編纂1300年の記念行事もあり、積極的に宮崎をアピールしたいとお話もあった。

乾杯後は、参加会員相互の交流・情報交換等で、更なる親睦を深め、盛会のうちに閉会となった。

▲挨拶する河野県知事



新会員紹介



岩崎法律事務所
代表弁護士
岩崎 健一

●出身地 宮崎市
●趣味 トレッキング、ハワイアン、アクリル画、演劇鑑賞

今年度は、私の母校である宮崎西高校が甲子園に初出場ということで、甲子園に応援に行きました。

いろいろな面で宮崎が活性化していくお手伝いでもできればと強く思っております。

まだまだ若輩者ですが、今後とも御交情のほどよろしくお願いいたします。



(株)宮崎南印刷
代表取締役
大迫 三郎
東京支社

●出身地 宮崎市
●趣味 ゴルフ、絵画鑑賞

創業47年。12年2月に3年の準備期間を経て、東京支社をオープンいたしました。

地元宮崎では、JTBあるが宮崎版も好評を得、14万部発行。無料広告誌月刊パームスもご愛顧を受け20周年を迎え、印刷・出版を通じますます宮崎愛に貢献して参ります。



(株)テクノ東京
代表取締役
河野 通明

●出身地 都農町
●趣味 ゴルフ

大田区北糞谷でプラスチック精密切削加工の町工場を経営しています。

加工部品は主に、半導体、液晶装置、血液分析装置、デバイス検査用ソケット部品等、広い分野の装置関連の絶縁部分をマシニングセンター、NC旋盤等で製造しています。

近年、関東地方に直下型地震が起きるニュースが流れ、生産体制のリスク分散をする為に、宮崎市田野町に工場を設立し、来春3月開業を目指しています。

(株)宮崎県ソフトウェアセンター
代表取締役社長
川口 博士

●事業内容 情報通信

セガサミーホールディングス(株)
代表取締役会長兼社長
里見 治

●事業内容 総合エンターテインメント企業グループの持株会社としてグループの経営管理及びそれに付帯する業務

(株)デンサン
東京支社長
長友 安宏

●趣味 音楽鑑賞、トレッキング、ウォーキング

●事業内容 IT(コンピュータ)に係る事業全般

(株)スプレーアートEX-IN
代表取締役
橋口 論

●趣味 空手
●事業内容 アートデザイン

企業紹介

イー・アンド・エム株式会社

代表取締役会長 岩城 範彦



◆1979年（昭和54年）

PCの普及を予感、ソフト開発を先駆ける。6人の技術者が集いイー・アンド・エム（株）はスタートしました。当時はPC黎明期で、コンピュータと言えばメインフレームのことでした。パーソナルコンピュータ（PC）の普及により必要不可欠なソフトウェア時代の到来をいち早く予見しながら、日本語ワープロ「JWORD」を市場に発表し、PCソフト普及時代の先鞭をつけました。

◆1989年（平成元年）

優秀な技術者は宮崎にあり。設立から10年後、地元著名企業のご協力を得て佐土原町に、最新技術でITソリューションにお応えする（株）フェニックスシステム研究所を設立しました。翌年春より、宮崎大学、佐土原高校など情報システム工学に特化した専門性の高い学校を中心に新卒の採用を本格的に開始しました。

◆1999年（平成11年）

21世紀のソフトウェア開発拠点として、企業立地から10年後、宮崎県工業技術センターを中核とした研究開発型企業の先端技術集積地である「宮崎テクノリサーチパーク」へ宮崎事業所（EMGテクノヒルズ）を設立しました。現在は180名を超える技術者が勤務しており、「電力」、「医療／介護」、「住宅」、「放送」、「新聞」、「プリンタ」、「地図」、「セキュリティ」など幅広い業種、業務に対応したソリューション、及びコールセンターサービスを提供しています。ここは、イー・アンド・エムグループのソフトウェア開発拠点としての中核を担っています。

◆これから

「創業精神」「誠実」「公正・正義」「最善の努力」 わたしたちは創業精神を日々実践すること、100年後も社会／顧客から必要とされるソフトウェア企業を目指しています。



EMGテクノヒルズ

日本カルミック株式会社

上席執行役員 田中 勉



日本カルミック株式会社は、ウォッシュルーム・トイレの専門性の高い優れたハイジーン（衛生）サービスを提供する日本におけるリーディングカンパニーです。環境問題が現在ほど社会問題として取り上げられていなかった1969年、日本カルミックは「環境衛生」をテーマに、英国のウエルカム社と共立商事（現：共立製薬）の合弁会社として設立されました。

そこから開始されたカルミック・エア・ユニーク・サービスの展開は、水洗トイレ時代の到来とともに「トイレ革命」とも評されましたが、その後も主力製品「サニタイザー」を核として、消臭芳香剤エアフレッシュナー、ソープディスプレイナー、シートクリナー、サニツコなどウォッシュルームに関連する様々なレンタルサービスの開発と提供に努めました。その結果、今日では日本全国3万8千の主要な公共施設や企業、病院などで数多くの商品が恒常的に利用されるに至っています。

さらに1991年には、新たにペストコントロール、ウォッシュルーム・ハイジーンサービスなどの環境分野を中心にサービスを展開している世界有数のグローバル企業レントキル イニシャル社（英国）との合弁となりました。こうした経緯を経て、機能的・衛生的でしかも快適性を維持し続けることを可能にした我々のサービスは、ウォッシュルームの日常管理の方法を大きく塗り替え、ウォッシュルームのイメージを一新させただけではなく、昨今世界中で課題となっている環境保護、衛生、安全、リサイクル、二次感染防止、省エネ等にビジョンをソフトさせています。

人と動物と環境の共生をになう

共立製薬 calmick 日本カルミック

物産振興部会
「第十一回 宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」

部会長 興枿 三男

宮崎県在京経営者会議主催の、第11回「宮崎の本格焼酎と郷土料理を楽しむ会」は、9月25日夜、東京千代田区九段のグランドパレスホテルで、500人以上を集め、盛大に開催されました。

また、宮崎産業活性化協会の羽田正治会長、宮崎酒造組合の渡邊眞一郎会長をはじめ、食品産業や商工関係者も多数ご来会になり、PRにつとめておられました。

同会の高山弘憲会長が「宮崎の滋味あふれる郷土料理と、特色ある宮崎の本格焼酎を楽しんでほしい」とあいさつ。

会場には、宮崎より公務員ご多様の中、河野俊嗣宮崎県知事がご臨席になり、県政についての報告のあと、「日本最大の消費市場である大東京を中心とする首都圏で一体となり、販売促進に全力をあげなければならぬ」との力強いご挨拶がありました。

宮崎県の「本格焼酎」や、その他の物産などを、日本の人口の3分の1を占める巨大市場への販路拡大に励まねばなりません。

故郷の各種本格焼酎と、懐かしい古里の料理を十分に堪能し、大いに盛り上がった楽しい会も、閉会の時間となり、メーカー各社からのお土産である「焼酎」と、協賛各社よりのお土産を手にし、喜びと感動の中で、帰路につきました。



▲河野県知事による挨拶



▲渡邊酒造組合会長による挨拶



▶出展にご協力いただいた皆さん



第13回 求人求職説明会

本年度の「求人求職説明会」は7月13日（金）に、例年通り東京港区六本木のハリウッド大学院大学にて開催いたしました。本年は高校15校／専門学校2校／大学3校の就職指導の先生が参加され、企業側からは13社の採用担当の方々に出席いただきました。午後2時から行われた個別ブースに分かれての面談のなかでは、それぞれに有意義な情報交換がなされたものと思っております。

当会の最大の目的のひとつは、首都圏に就職を希望する宮崎県の学生たちに対して求人・求職に関する良質な情報を提供することにあります。また、通常の「就職フェア」などとは異なるより親しい雰囲気の中で、採用担当者にビジネス現場の動向やそれぞれの業界のあり方などを語っていただくことにより早期の離職を未然に防ぐなど、学生たちの的確な職業観の養成にも間接的ながら役立つものと思っております。

当会は本年度で第13回を迎えましたが、平成12年の第1回の会以来、100名を超す宮崎県の学生たちがこの会を契機に就職を決め、もつと多くの学生たちが首都圏で活躍する「先輩」の言葉に耳を傾け進路を決めてくれたことと思います。地味な活動ではございますが、ご協力いただきました会員の皆様にあらためて深く感謝するとともに、この会がいっそう意義深い有用な会になるためにご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。



説明会の状況と全員での記念撮影

宮崎県在京経営者会議 平成24年度「求人・求職説明会」懇親会



平成24年度賀詞交歓会

平成24年の賀詞交歓会は、1月27日、東京千代田区隼町のグランドアーク半蔵門で開催。

高山会長が「求人求職援護や伝統文化の普及など、宮崎の発展に力を尽くしたい」と挨拶、

また、来賓の宮崎産業活性化協会の羽田正治会長が「希望を持って進む年にしたい」と挨拶した。

約100人の出席者が親睦を深めた。



(宮崎日日新聞社提供)

編集後記

宮崎・酒・歌人といえば牧水だが、山口県防府出身の山頭火もその一人。昭和5年、えびの、都城、油津、宮崎、延岡を訪ねる。そこで残した句が「酔うて こうろぎとねてゐたよ」。

「経営者会議だより」作成に携わり、宮崎の人と酒の結びつきの強さを改めて感じた。古の歌人も宮崎を愛したはずである。(河)